

2020年11月期 決算補足説明資料

ティアンドエス株式会社

(東証マザーズ 4055)

2021.1.14



T & S
Technology & Service

目次

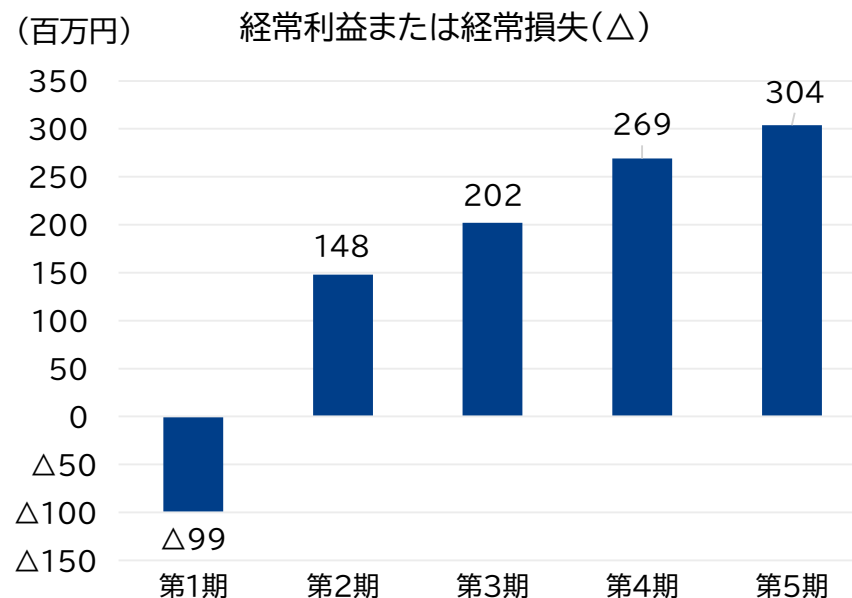
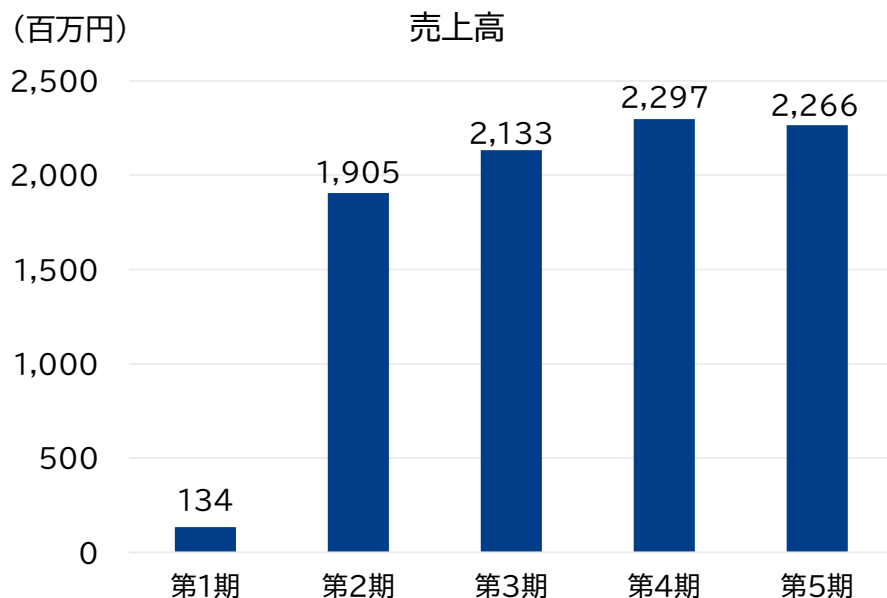
1. 2020年11月期 決算概要 p.3
2. 2021年11月期 通期業績予想 p.11
3. 2020年11月期 決算補足 p.13
4. Appendix p.24

2020年11月期 決算概要

業績ハイライト①(売上高、経常利益)

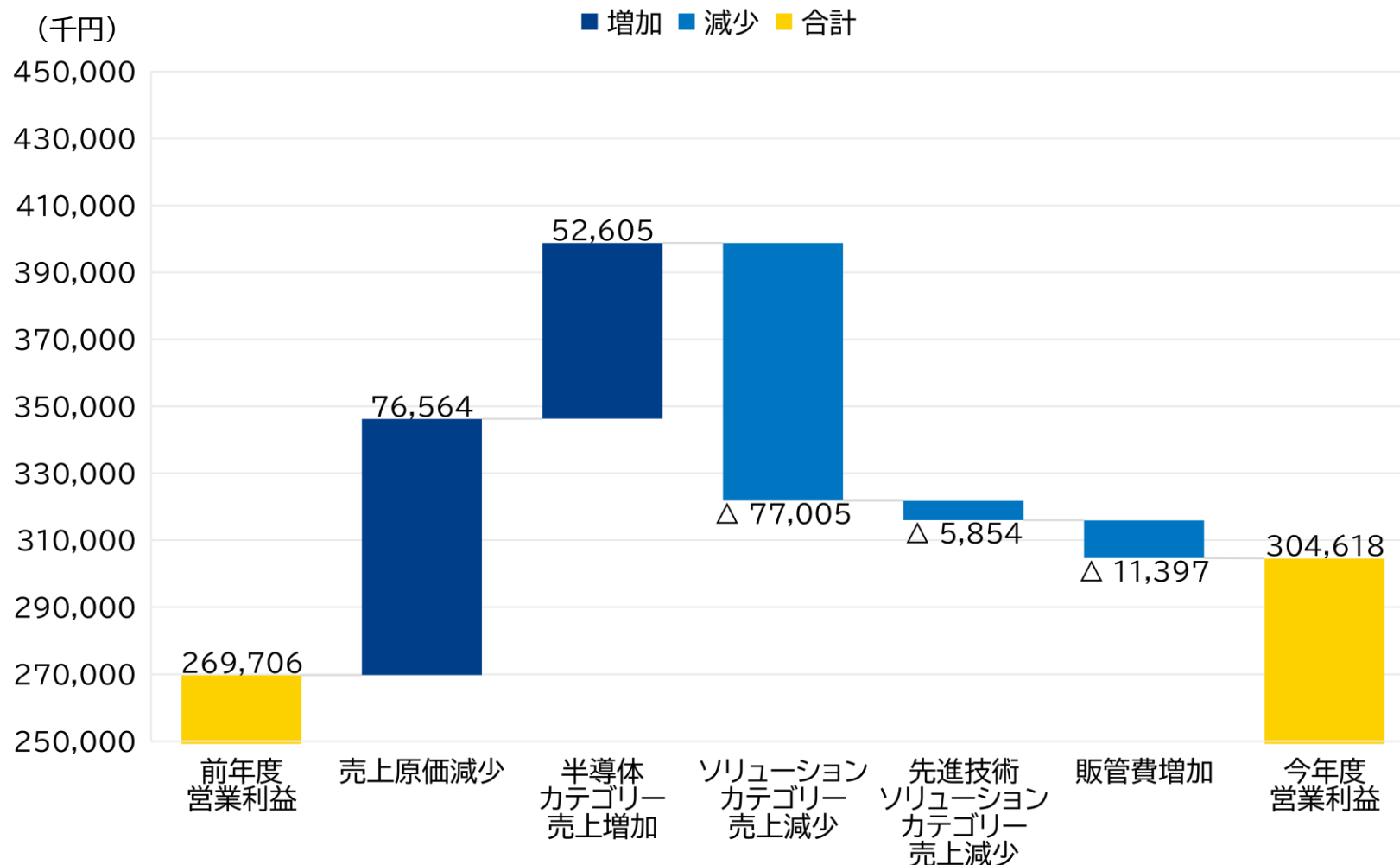
(百万円)

	第1期 2016年 11月期	第2期 2017年 11月期	第3期 2018年 11月期	第4期 2019年 11月期	第5期 2020年 11月期
売上高	134	1,905	2,133	2,297	2,266
経常利益 または 経常損失(△)	△99	148	202	269	304
経常利益率	—	7.8%	9.5%	11.7%	13.4%



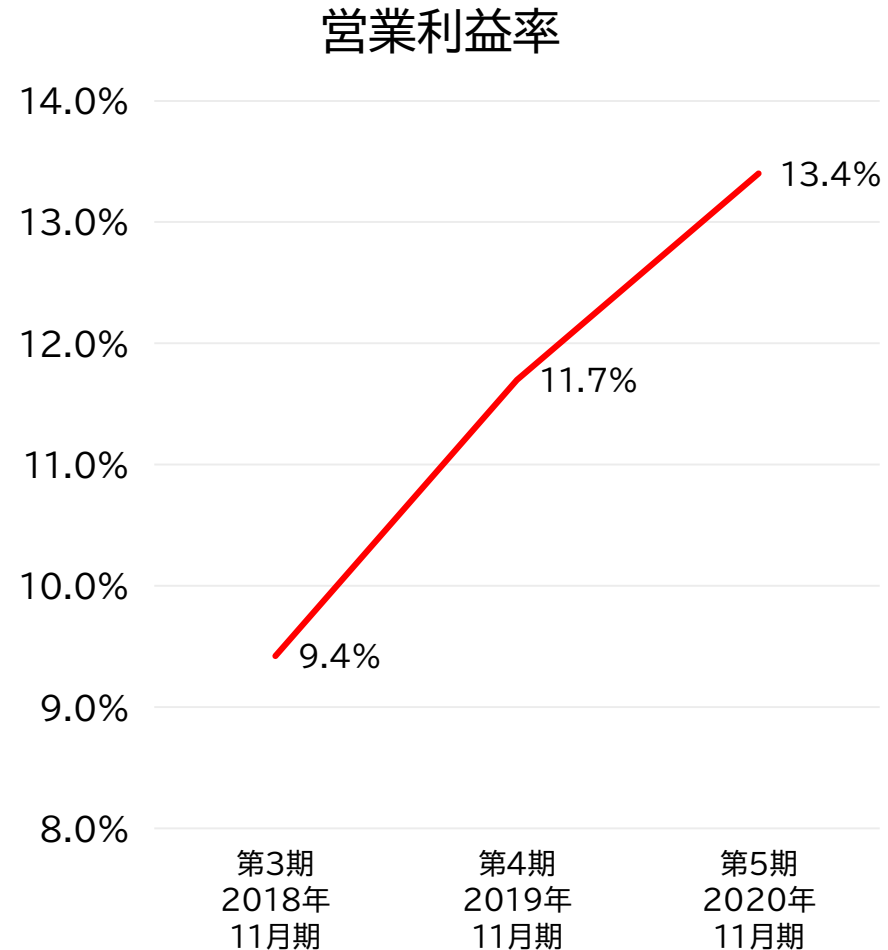
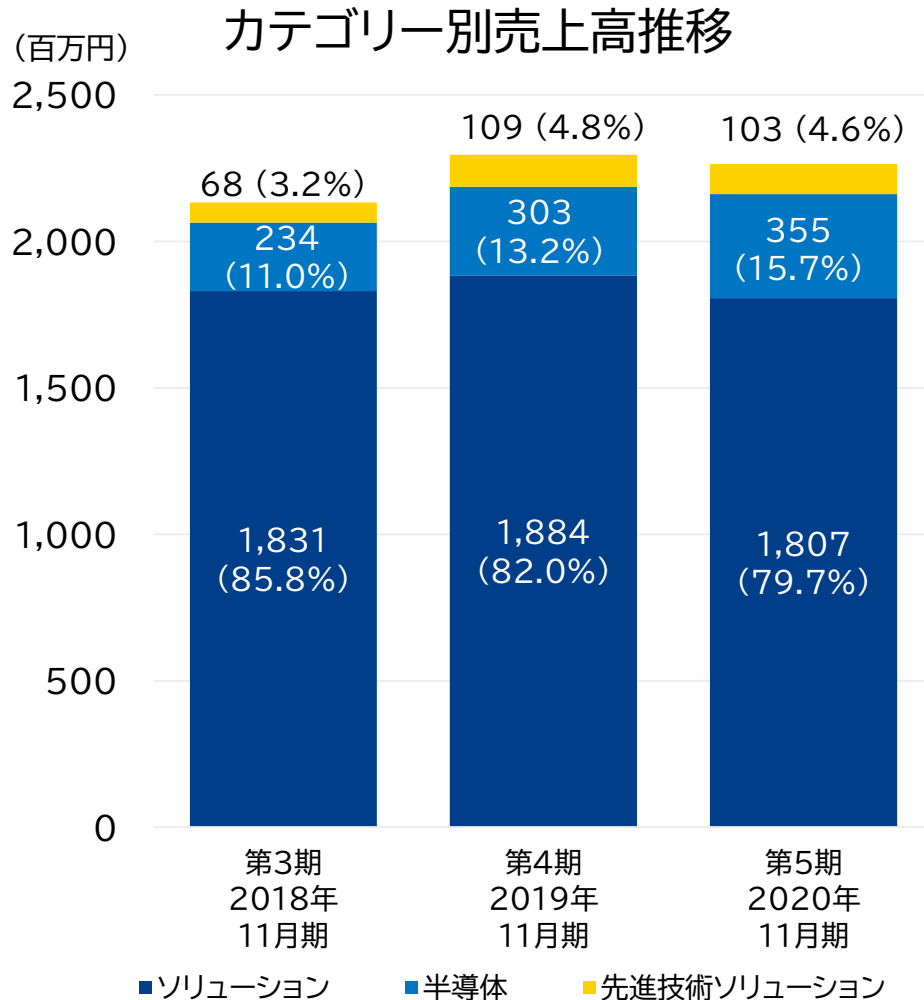
- 売上高は前年並みで推移
- 経常利益は過去最高益を達成

業績ハイライト②(営業利益の状況)



- 営業利益は前年比12.9%増の304百万円で過去最高益
- 売上は微減したものの、外注費が減少し、粗利率が2.4ポイント改善
- 販管費は上場関連費用と外形標準課税が増加

業績ハイライト③(カテゴリー別売上高、営業利益率)



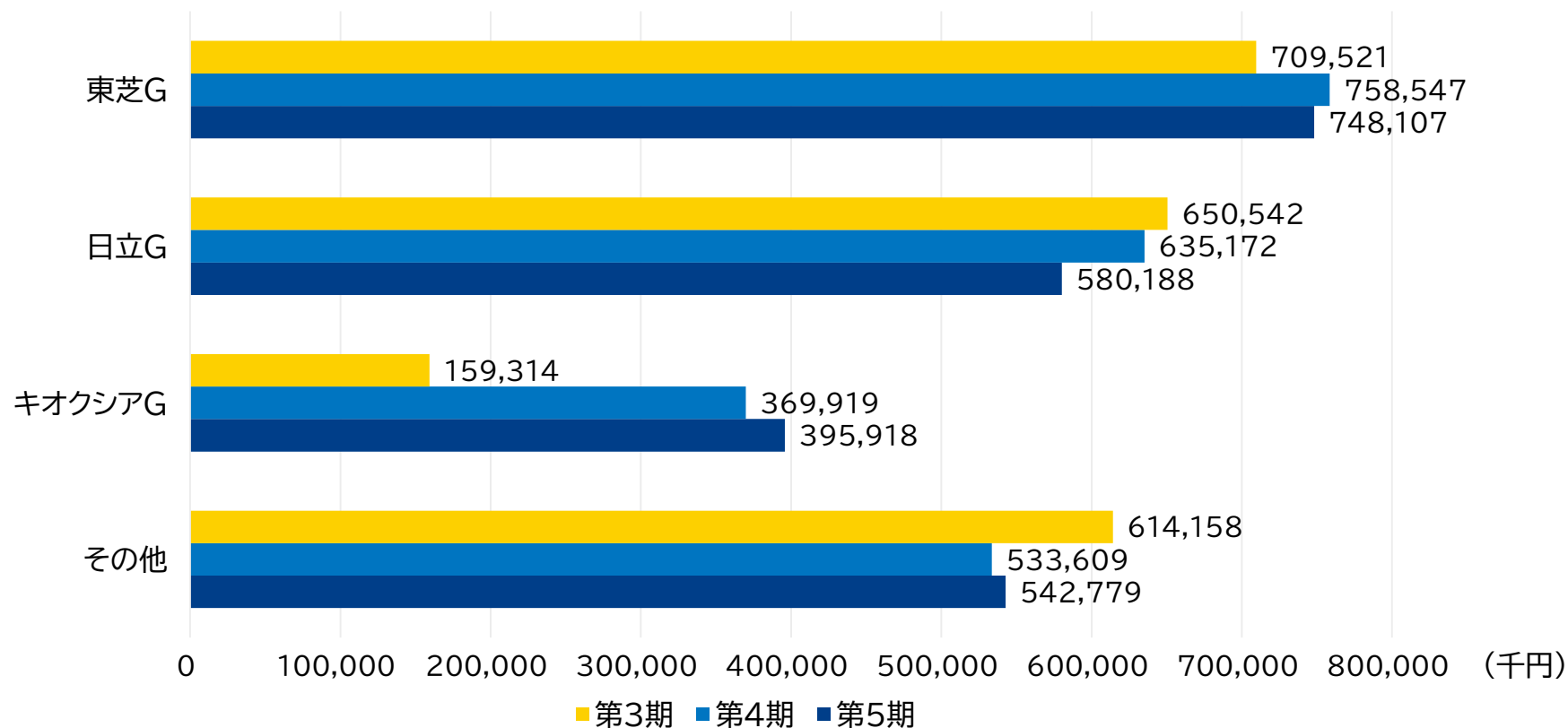
➤ 半導体カテゴリーの伸び率が相対的に高い

➤ 営業利益率は業界平均(約7.0%)を超え、1.7ポイントアップ

(注)当社の事業セグメントは単一セグメントです。売上高のみカテゴリー別に集計しております。

取引先別売上高

3グループ(東芝G、日立G、キオクシアG)向け売上高の推移



- キオクシアG向けの売上高が年々増加
- 東芝G、日立Gは安定して推移

損益計算書

(千円)

損益計算書のポイント

- 売上高は1.3%減
- 売上原価(主に外注費)の減少により、売上総利益率は2.4ポイント改善し29.9%に
- 販管費は上場関連費用と外形標準課税が増加
- 営業利益は過去最高益。営業利益率も1.7ポイント改善し13.4%に
- 営業外収益に、研究開発関連の補助金を計上
- 営業外費用に、上場に伴う株式交付費用を計上
- 当期純利益は28.4%増で過去最高益

	2019/11期	2020/11期	増減	前期比
売上高	2,297,249	2,266,994	△30,255	98.7%
売上原価	1,666,651	1,590,086	△76,564	95.4%
売上原価率	72.5%	70.1%		
売上総利益	630,598	676,907	46,309	107.3%
売上総利益率	27.5%	29.9%		
販売費及び一般管理費計	360,892	372,289	11,397	103.2%
販管費率	15.7%	16.4%		
営業利益	269,706	304,618	34,912	112.9%
営業利益率	11.7%	13.4%		
営業外収益	252	3,024	2,772	1200.0%
営業外費用	108	3,210	3,102	2972.2%
経常利益	269,850	304,432	34,581	112.8%
経常利益率	11.7%	13.4%		
税引前当期純利益	269,850	304,432	34,581	112.8%
法人税等合計	85,842	68,174	△17,668	79.4%
当期純利益	184,007	236,257	52,250	128.4%

配当(1株あたり)	-	13.5円	13.5円	
-----------	---	-------	-------	--

貸借対照表

(千円)

貸借対照表のポイント

	2019/11期末	2020/11期末	増減
流動資産	727,557	1,407,497	679,939
現金及び預金	323,177	1,016,928	693,751
売掛金	235,444	250,442	14,998
仕掛品計	7,845	6,147	△1,698
棚卸資産計	7,845	6,147	△1,698
その他の流動資産	161,090	133,978	△27,111
固定資産	89,450	95,425	5,974
有形固定資産	20,007	23,542	3,534
無形固定資産	1,104	1,178	73
投資その他の資産	68,338	70,704	2,366
資産合計	817,008	1,502,923	685,914
流動負債	318,379	243,604	△74,775
買掛金	61,824	64,473	2,649
未払金	21,799	8,572	△13,227
未払費用	53,171	56,581	3,410
未払法人税等	64,900	42,326	△22,574
未払消費税等	51,027	57,589	6,562
預り金	20,546	8,237	△12,308
賞与引当金	45,109	5,822	△39,287
固定負債	43,494	46,966	3,472
退職給付引当金	35,423	38,895	3,472
長期預り保証金	8,071	8,071	0
負債合計	361,874	290,571	△71,303
資本金	74,120	334,600	260,479
資本剰余金	25,450	285,929	260,479
利益剰余金	355,563	591,821	236,257
株主資本合計	455,133	1,212,351	757,217
純資産合計	455,133	1,212,351	757,217
負債純資産合計	817,008	1,502,923	685,914

- 上場による資金調達で自己資本比率は80.7%に
- ROE(自己資本利益率)は28.3%
- 借入金はゼロ
- 戸塚事業所の開設等により有形固定資産が増加
- 総資産は685百万円増加し1,502百万円に

キャッシュ・フロー計算書

(千円)

	2019/11期	2020/11期
営業活動によるキャッシュ・フロー	168,033	185,756
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,056	△9,754
財務活動によるキャッシュ・フロー	△44,438	517,749
株式の発行による収入	—	517,640
新株予約権の発行による収入	—	108
現金及び現金同等物の増減額	122,539	693,751
現金及び現金同等物の期首残高	200,638	323,177
現金及び現金同等物の期末残高	323,177	1,016,928

キャッシュ・フロー計算書のポイント

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、前期比17百万円増の185百万円の収入
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、戸塚事業所開設のための有形固定資産取得等により9百万円の支出
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、株式の発行による収入等により517百万円の収入
- 現金及び現金同等物は693百万円増加し1,016百万円に

2021年11月期 通期業績予想

業績予想(売上高、営業利益、経常利益)

(百万円)

	第5期 2020年11月期	第6期 2021年11月期	前年同期比
売上高	2,266	2,464	8.7%増
営業利益	304	322	5.7%増
経常利益	304	328	7.9%増
経常利益率	13.4%	13.3%	—

➤ ソリューションカテゴリー

- 主要得意先である大手企業3グループ(東芝G、日立G、キオクシアG)からのシステム開発案件の受注が引き続き好調の見通し
- 2020年10月に開設した戸塚事業所が横浜西部地区のシステム開発拠点となり受託開発業務が拡大する見通し

➤ 半導体カテゴリー

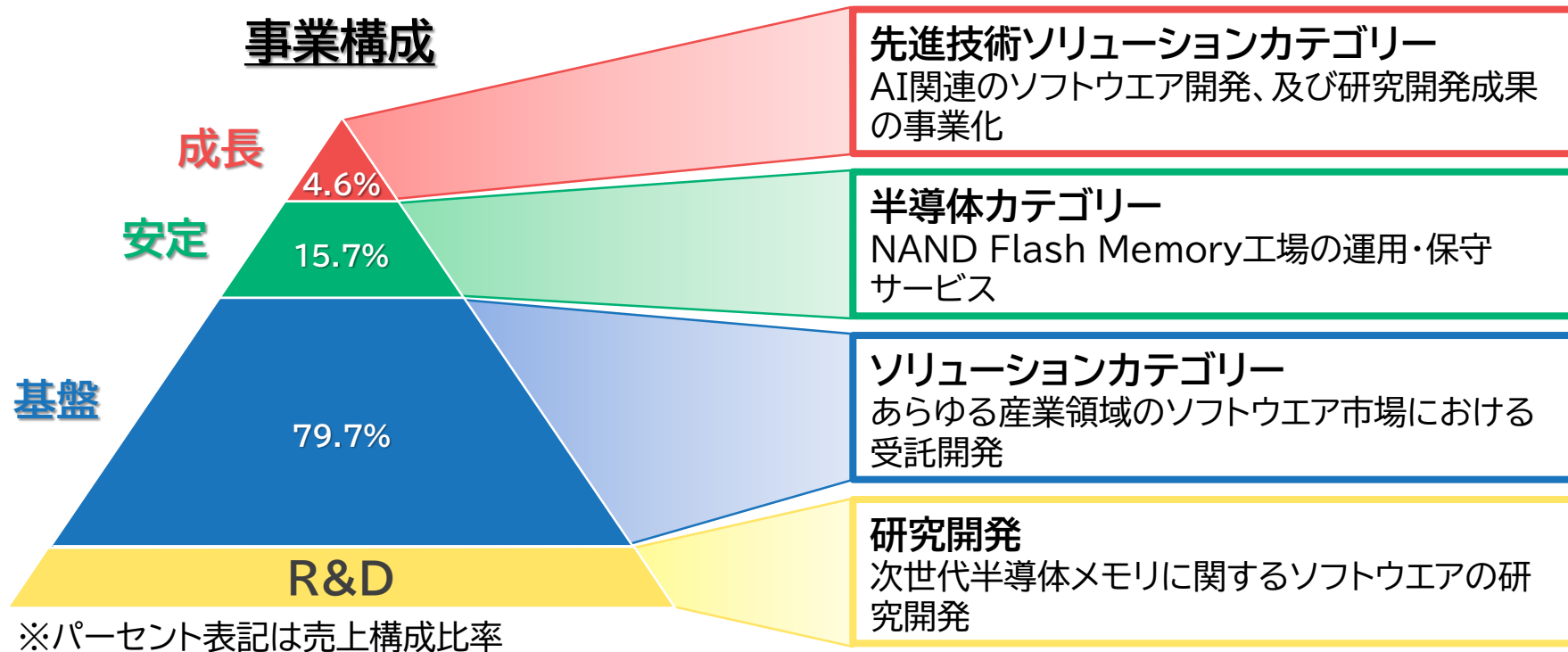
- 好調な半導体市場を背景に、お客様の工場増設計画が続いており、エンジニア人材の供給が引き続き拡大する見通し

➤ 先進技術ソリューションカテゴリー

- 株式会社本田技術研究所やオムロン株式会社等に対する業務提供のほか、前期より新規取引を開始した日本電気株式会社とのディープラーニング技術に関する業務や論文調査などAI関連業務が拡大する見通し

2020年11月期 決算補足

当社事業の全体像



2020年11月期の振り返り

- ・コロナの影響があり、売上はほぼ前年並みに推移
- ・利益は過去最高益
- ・半導体カテゴリーが好調
- ・研究開発は順調に推移

カテゴリー別事業内容①

ソリューションカテゴリー

システム開発のニーズをお持ちのお客様

重電系生産管理システム 発電所関連システム 医療系システム
業務管理アプリケーション SharePoint導入/移行

重電系メーカー

金融 サービス 医療機関

各種メーカー
情報通信
その他

東芝G

日立G

キオクシアG

受託開発(請負)
コンサルティング
要件定義 設計
開発 テスト

サービス
運用・保守
第三者検証
オンサイト開発支援



ティアンドエス 株式会社

主力事業 →
全社売上の80% →

基盤
Base

← 大手顧客からの安定受注
← DXの潮流

半導体カテゴリー

プラント・大規模工場をお持ちのお客様

生産管理システム 工事資材管理システム 工程システム
品質検査実績管理 業務管理アプリケーション 歩留まり管理システム

キオクシア半導体(NANDフラッシュメモリ)四日市工場 北上工場

キオクシアG各社

東芝G各社

インフラサービス(技術者派遣)

運用・保守サービス ヘルプデスク
インフラ構築 プロセス効率化支援
RPA導入支援 業務アプリケーション導入支援



ティアンドエス 株式会社

生産量によらず一定需要 →
当社開発システムの保守 →

安定
Stable

← 大手顧客の工場拡張
← 旺盛な半導体需要

先進技術ソリューションカテゴリー

AI関連製品を開発中のお客様

AI搭載の自動車関連装置 センシング機器
カメラ等画像関連機器 半導体 情報通信デバイス

株式会社本田技術研究所 日本電気株式会社
株式会社日立ハイテク オムロン株式会社 など

AIアルゴリズム研究開発支援

グローバル論文調査
論文アルゴリズム実装/評価
AIアルゴリズム研究開発支援
アノテーションサービス

AIソフトウェア受託開発(請負)

AIソフトウェア開発
画像認識ソフトウェア開発

研究開発
研究開発成果
の事業化



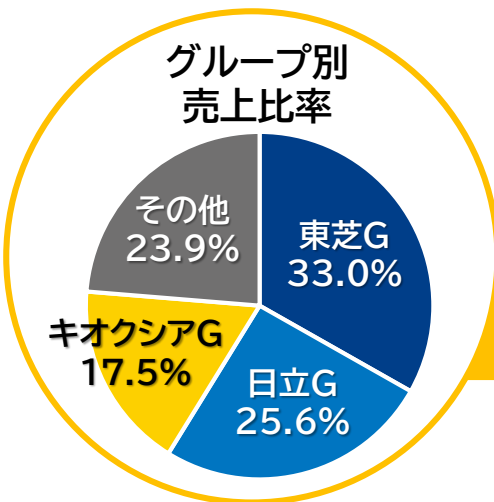
ティアンドエス 株式会社

精鋭の研究開発技術者 →
既に好採算収益化 →

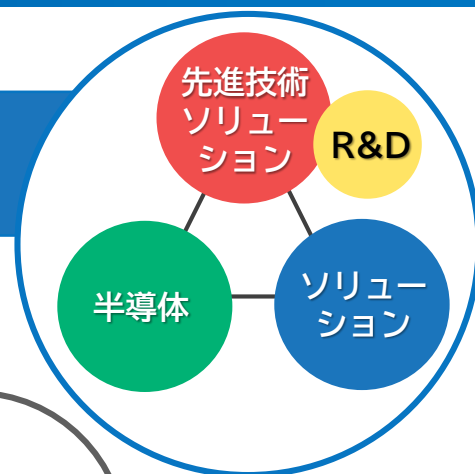
成長
Growth

← 大手企業のAI製品開発競争
← 大学共同研究とのシナジー

当社の強み



3カテゴリー+R&D



盤石の大手顧客

営業利益率 13.4%

80.7% 自己資本比率

ROE(自己資本利益率) 28.3%

エンジニア数
257名
2021年1月時点

豊富なエンジニア層

2020年11月期 振り返り

2020年

- 3月 産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム(OPERA)へ参画
- 4月 新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発令
- 6月 独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構の機構(R2)情報システム運用管理業務委託の競争入札を落札
- 8月 東京証券取引所マザーズ市場上場
- 10月 戸塚事業所開設
- 11月 令和2年度戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)の開始

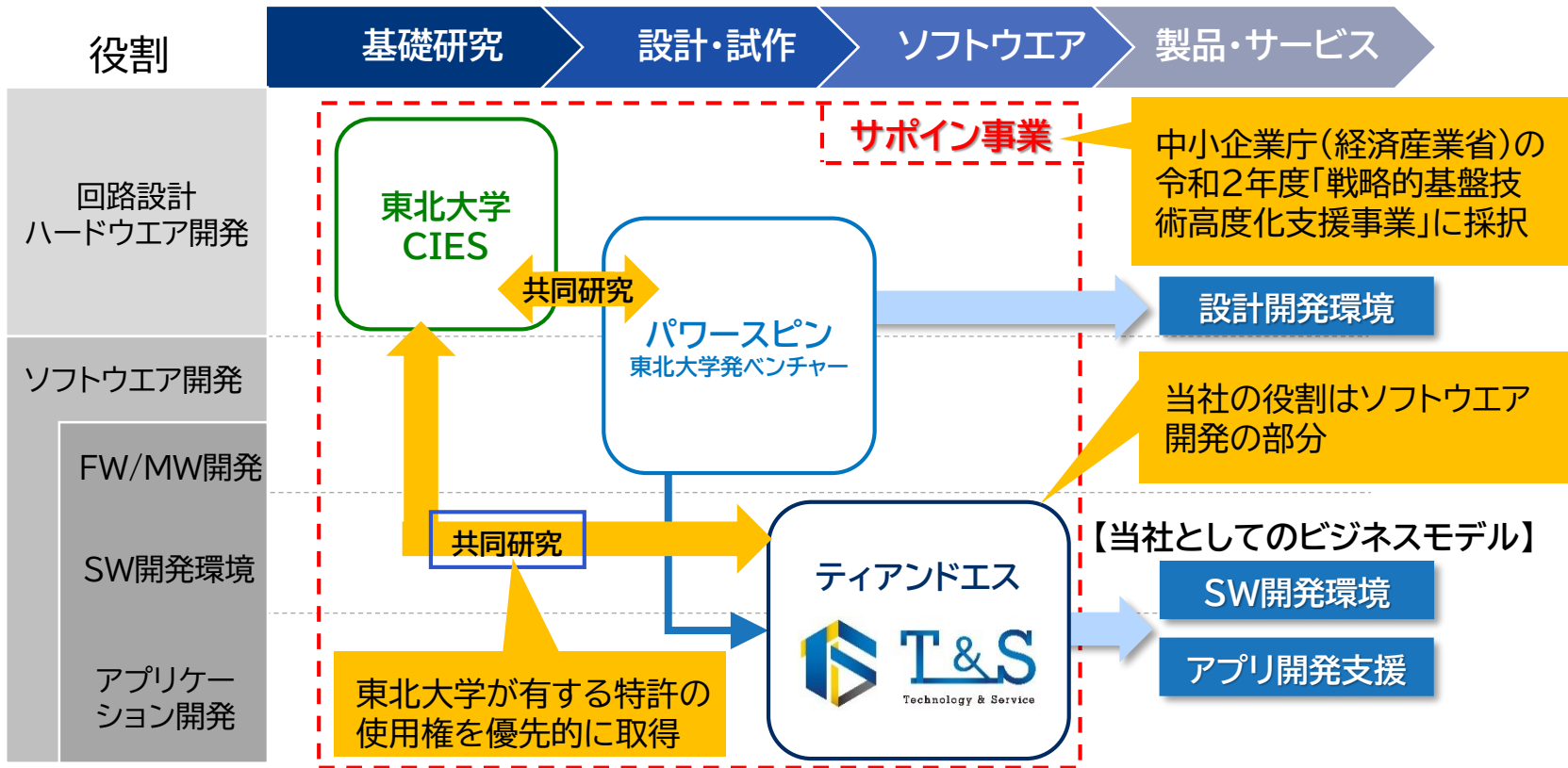


2021年

テーマ①: 次世代半導体メモリの信頼性確保に向けた研究開発

テーマ②: スピントロニクス技術を用いたAIプロセッサ用アプリケーションソフトウェアの研究開発

開発体制



新型コロナウイルス感染拡大の影響と今後について

2020年11月期の当社への影響

【事業環境】

- ・不慣れなテレワーク導入による生産性の低下
- ・人材採用市場の停滞による採用計画の未達
- ・社内決裁等の遅延に伴う受発注・検収の時期ずれ
- ・移動や残業時間の減少による経費削減

【業務体制】

- ・テレワーク、輪番制出社、時差出社の導入
- ・感染症対策についての社内ルール整備
- ・会議や営業等でのオンラインミーティングの活用

今後の見通し

【事業環境】

- ・停滞していた採用活動が回復傾向
- ・テレワーク等のデジタル環境整備に伴うPC需要の高まりなどにより半導体市場が活況

【業務体制】

- ・引き続きコロナ対策を図るとともに通常時と同様の業務効率を得られる体制を維持
- ・移動等のコスト削減、残業代削減傾向は継続
- ・テレワーク環境への積極投資実施

成長戦略

安定・成長分野に寄与する事業基盤の強化により、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

全社戦略

顧客ファーストの推進

“Only One Technology”
の獲得

経営基盤の強化

カテゴリー別事業戦略

先進技術
ソリューション

他社との差別化を図るため、東北大学との研究開発を行っております。研究成果として期待されるスピントロニクス技術をもってお客様からのソフトウェア開発業務を受託してまいります。

半導体

半導体工場を有する顧客との強固な関係を維持し、安定的に人員を提供する体制を整えられるよう努め、NAND Flash メモリ工場の今後の計画的な増加に対応いたします。

ソリューション

大手企業とその関連会社を中心とした顧客戦略に基づき、事業領域を特化せず、開発バリューチェーン全体を網羅し、お客様の要求する技術及び人材提供モデルに柔軟に対応いたします。

本資料の注意点

本資料に掲載されている情報には、将来の見通しに関するものが含まれています。これらの情報については、現時点で当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現や将来の業績を保証するものではありません。

経済状況の変化や一般的な業界ならびに顧客ニーズの変化、法規制の変更等、様々な要因によって当該予想と大きく異なる可能性があります。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新又は改訂を行う義務を負うものではありません。

Appendix

会社概要

会社名	ティアンドエス 株式会社
設立	2016年11月1日
役員	武川 義浩 …代表取締役 執行役員 社長 福田 悦生 …取締役 執行役員 研究開発本部長(博士(工学)) 木下 洋 …取締役 執行役員 業務本部長(公認会計士) 遠藤 玲 …取締役 執行役員 財務経理部長 法眼 健作 …社外取締役 長谷川 智彦…社外取締役 土屋 雄二 …常勤監査役 望月 篤 …社外監査役(税理士) 藤江 勇佑 …社外監査役(弁護士)
従業員数	267名(2020年11月時点)
所在地	本社 神奈川県横浜市西区みなとみらい 四日市事業所 三重県四日市市 北上事業所 岩手県北上市 戸塚事業所 神奈川県横浜市戸塚区
主な事業内容	大手企業顧客向けシステム開発及び運用保守・インフラ構築、AI(画像処理・認識・機械学習・論文アルゴリズム評価)等のソフトウェア開発を中心にサービスを展開
主な取引先	東芝グループ、日立グループ、キオクシアグループ、他27社

